



それぞれの決意を胸にする 43 名の新規任用職員たち

入庁式を1週間後に控えた3月27日。福祉会館に集められた43名の新規任用職員に伝えられたのは、「日本一の紙のまち」「書道パフォーマンス甲子園の聖地」のセールスマンとして活躍してもらいたいという、本市の想いでした。

その想いを受け取った新規任用職員たち。本市で作られた手漉き和紙に、それぞれの決意を力強く揮毫しました。

4月3日に行われた「日本一の紙のまち入庁式」は、「紙のまち」へのリスペクト溢れるものでした。



第16回書道パフォーマンス甲子園 7/23(日)開催!



紙関連製造品出荷額 17年連続日本一!



続いて行われた「書道パフォーマンス甲子園アンバサダー委嘱式」では、昨年度アンバサダーとして各方面で

活躍していただいた青柳さんや高校生たち、そして若きセールスマンたちの今後の活躍にご期待ください。

そして迎えた「日本一の紙のまち入庁式」。篠原市長から新規任用職員に渡されたのは、こちらも本市で作られた手漉き和紙の辞令書でした。

手漉き和紙の持つ温かみと日本一の紙のまちの礎を築いた歴史の重みを手にした新規任用職員たち。代表して近藤楓さん(生涯学習課に配属)が、揮毫した「実現」の文字を掲げながら「より良いまちづくりを実現するために常に目標を持ち、そして一日も早く市民から信頼される職員となれるよう成長します」と、決意を述べました。

「入庁する職員のみなさんや大会を目指す高校生たちが、これから全力で翔けていけるようにと願いを込めました。今年でアンバサダー2年目を迎えます。私もこの文字のように、全身全霊で書道パフォーマンス甲子園のPRに精進したいと思います」。

手漉き和紙にしたためた決意とともに  
日本一の紙のまち入庁式  
青柳美扇さんが再任 メッセージを揮毫  
書道パフォーマンス甲子園  
アンバサダー委嘱式

青柳美扇 Bisen Aoyagi

Instagram、Twitterの総フォロワー数が12万人を超える、書道界きってのインフルエンサー。NHK Eテレ「にほんごであそぼ」など出演番組多数。2022年書道パフォーマンス甲子園初代アンバサダーに就任。もっとも活躍する書道家の1人。

